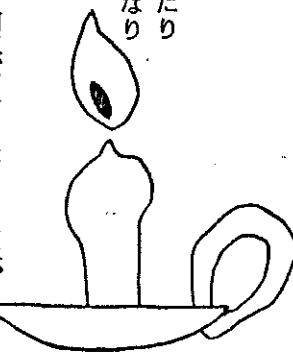


# 勝林寺々報

仏光照曜最第一  
光炎王仏となづけたり  
三塗の黒闇ひらくなり  
大應供を帰命せよ



このごろめつきり夜明けがおそくなりました。

毎朝六時には外の掃除をするのですがまだ足もとが暗くて見えません。それだけによくよく念を入れて掃くのです。そのようにして掃いていく間にぼつぼつ夜が明けて陽の光もさしてきます。

そうなつてから先に掃いたつもりのところに帰つてみるとアレアレとあきれてしまいます。モミジやイチヨウなどいっぱい土にへばりついでのこつています。掃いたつもりだつたのに和平をいいながらまた掃きなおします。

また箒を使いながらと「三塗の黒闇ひらくなり」ということを思うのです。

「三塗」というのはいわゆる地獄・餓鬼・畜生の三悪道のことです。いかりとむさぼりと愚かさがつくり出す世界。刀と火と血のぶつかりあう世界です。

もちろん私たちも餓鬼でも畜生でもない「人間」に違いないのですが、この人間づらした私のくらしのなかに三悪道の刀や火や血がさわぐことはないのでしょうか。ほんとはそんなおぞろしい浅間しいものを心のなかにいだきながら、人目にはいかにも人間らしい顔をし善人らしくふるまつています。

人目にそうするだけではなくて自分自身にもきれいに生きているように上等にくらしているように思つてしまつてゐるのです。「いつわり・

へつらう」くらしと親鸞さまはなげかれます。

葬儀

十一月二十四日

奥小谷 宮嶋 鈴子様

十二月のこよみ

み

み

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

一二

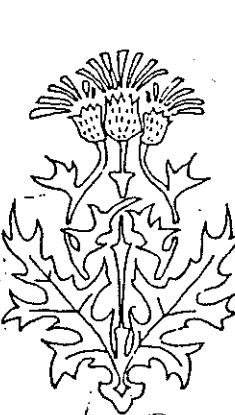
## 私のお念仏

官嶋千秋



一年中かたずかないがたといたなかで、あわただしく過してきてハツと気がついてみるとすでにもう師走。そんなあわただしくらしのなかで何かにまたどこかに「生きがい」というものを求めていきているように思います。そこでいま「あなたは何を生きがいにしてますか」と問われても、すぐには返事ができないようにも思うのです。たとえていえば、子供を「生きがい」にするとか、あるいは仕事・お金趣味を「生きがい」にと、いろいろあると思います。がいざれにしましても、これらすべて、いくつずれ去るかまた変つてしまふか知れない頼りない「生きがい」だと思います。もしも、変つたりくずれたりしたときには、もとの開の世界になつてしまふかもしれません。よい子供であれば、満足して鼻高々といかにも自分のものであり自分が作つたように思ひあがります。反対に、悪い子供であれば、自分の子供ではないようあるまい方をいたします。

仕事でも、人から「よいお仕事ですね」とほめられると、なにおれが努力したからだと鼻高々になります。反対に、悪いと思われている仕事ではすぐいや気がさしてしまふよう、浅見しい「生きがい」なんです。阿弥陀さまが私たちに豊かに知れない智慧の光明をあたえてくださっています。ことこそ、本当の「生きがい」だと思つてゐるのですが、阿弥陀さまの「いつもかわらぬ思いやりをすなおによろこばせていただくということはいかにもむずかしいことだと思ひます。すぐに不平をおこしたり腹を立てたりしてしまいます。



善行をほこり  
それを人におしつける人がいる

『三塗の黒闇ひらくなり』  
くらやみのなかに光に出会つたよろこびを  
音たえた間に眞実のよび声が聞こえてきたよ  
ろこびを 親鸞様はそううたわれたのです。

『ご和讃』のなかに「智慧の光明はかりなし」とございます。  
私は自分では何もすることができず、自分がしたことは実は、すべて阿弥陀さまがさせてくれたままの気があつてはならないと、とうに照し守り育てられているのです。わが家のだんらんも家も田も与えてくださいました。妻も子どももちろんです。仕事も趣味も時間もみんな与えていてくださっているのです。

私はなかなかできることではありませんが少しでも如来さまの思いのかけられたものを大事にしたいと思ひ無だにならないようにしたいと思ひ、「生きがい」をほんとのものにしたいと思う心でいっぱいです。それをあらわしたのがあの「闇」という字だと思ひこのころです。  
南無阿彌陀仏。

私にはなかなかできることではありませんが少しでも来さまの思いのかけられたものを大事にしたいと思ひ無だにならないようにしたいと思ひ、「生きがい」をほんとのものにしたいと思う心でいっぱいです。それをあらわしたのがあの「闇」という字だと思ひこのころです。  
南無阿彌陀仏。

あなたには、こんな経験はありませんか。真暗闇のなかに一人いて、どちらに行つてよいのかさえも見定めもきかないとき、もうそこじつとしているより仕方ありません。じつとしていると突然、そのときまで聞こえていた虫の声がハタととなります。音の絶えたあと底なしのしづけさに、なんともいえない恐怖を感じます。

私はなかなかできることではありませんが少しでも来さまの思いのかけられたものを大事にしたいと思ひ無だにならないようにしたいと思ひ、「生きがい」をほんとのものにしたいと思う心でいっぱいです。それをあらわしたのがあの「闇」という字だと思ひこのころです。  
南無阿彌陀仏。

あなたには、こんな経験はありませんか。真暗闇のなかに一人いて、どちらに行つてよいのかさえも見定めもきかないとき、もうそこじつとしているより仕方ありません。じつとしていると突然、そのときまで聞こえていた虫の声がハタととなります。音の絶えたあと底なしのしづけさに、なんともいえない恐怖を感じます。

## 闇の世に

勝林寺テレホン法話より



## 代議員様へ

## 「署名」にご協力

興信所その他他の行なう身元調査などのとき部落差別などの人権侵害があつてはならないと、とくに「お念佛のなかでは御同朋」という親鸞さまの教えをいたく真宗念佛者として、国に對して部落解放・差別解消の啓發活動と立法措置とを求めているのが「部落解放基本法」の制定要求署名運動です。先月号でもお願ひしましたしすでにご協力いただいた方もありますが今月「寺報」とともにお届けする分についてはなるべく全欄おうめいただき十二月五日までに勝林寺までお寄せいただきたくお願ひ申します。

印はいりませんが住所は一人一人兵庫県からお書きください。他宗のかたへもはたらきかけてください。

印はいりませんが住所は一人一人兵庫県からお書きください。他宗のかたへもはたらきかけてください。

報恩講を前にした十一月十一日、当日厳しい寒波の中にもかかわらず仏社仏婦の会長さんをはじめ遠近より二十四名の方々がお寄りいただき奉仕作業をしていただきました。有難いことでした。こうしたみんなの懇意のなかで今年も報恩講にぎりぎしく勤めさせていただきました。感謝申します。

おみがきもの奉仕  
有難うございました



その、一步も足をみ出すこともならず、底なしの闇にとどまるのもならず。そんなとき、たとえかすかであれだれかのよび声が聞こえてきたら。たとえわずかな小さなともし火でも、明りが見えてきたなら、どんなにうれしいことでしょうか。

手がるでおいしい  
チソゲンサイいため

材料 中國野菜チソゲン菜300g。豆腐半丁。食用油 大さじ2杯。コンソメ顆粒

1、豆腐の水切り 2、チソゲン菜の湯通し  
3、フライパンを熱し油を入れての豆腐を入れて火を通す。

4、3の中に2を入れ火を通し味付けをする  
2 ホーレンソウを加えてよい。台所の残り野菜を使用してください。

3 中國野菜はなるべく炒めすぎないように

